



サイバーセキュリティ月間 キックオフ・シンポジウム
「費用」から「投資」へ

経営の活力を支えるサイバーセキュリティ

2015年2月2日

富士ゼロックス株式会社

藤本 正代

藤本 正代

- 富士ゼロックス株式会社 パートナー
- 情報セキュリティ大学院大学客員教授（リスクマネジメント論）
- 筑波大学客員教授（情報セキュリティ概論）
- NISC人材育成・資格制度体系化専門委員、
情報セキュリティ報告書専門委員などを歴任

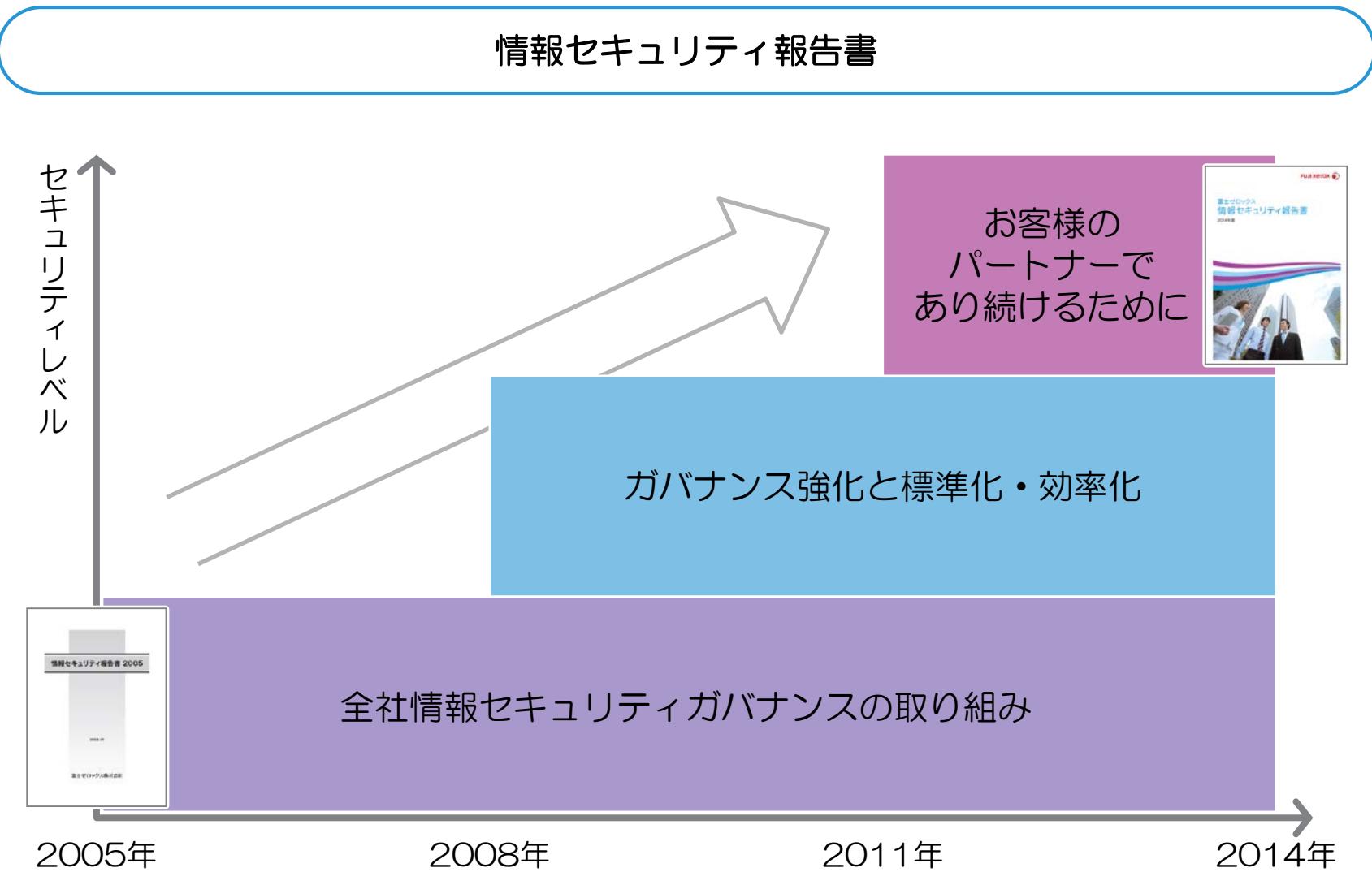
本パネルディスカッションにおける役割

会社としての取り組み

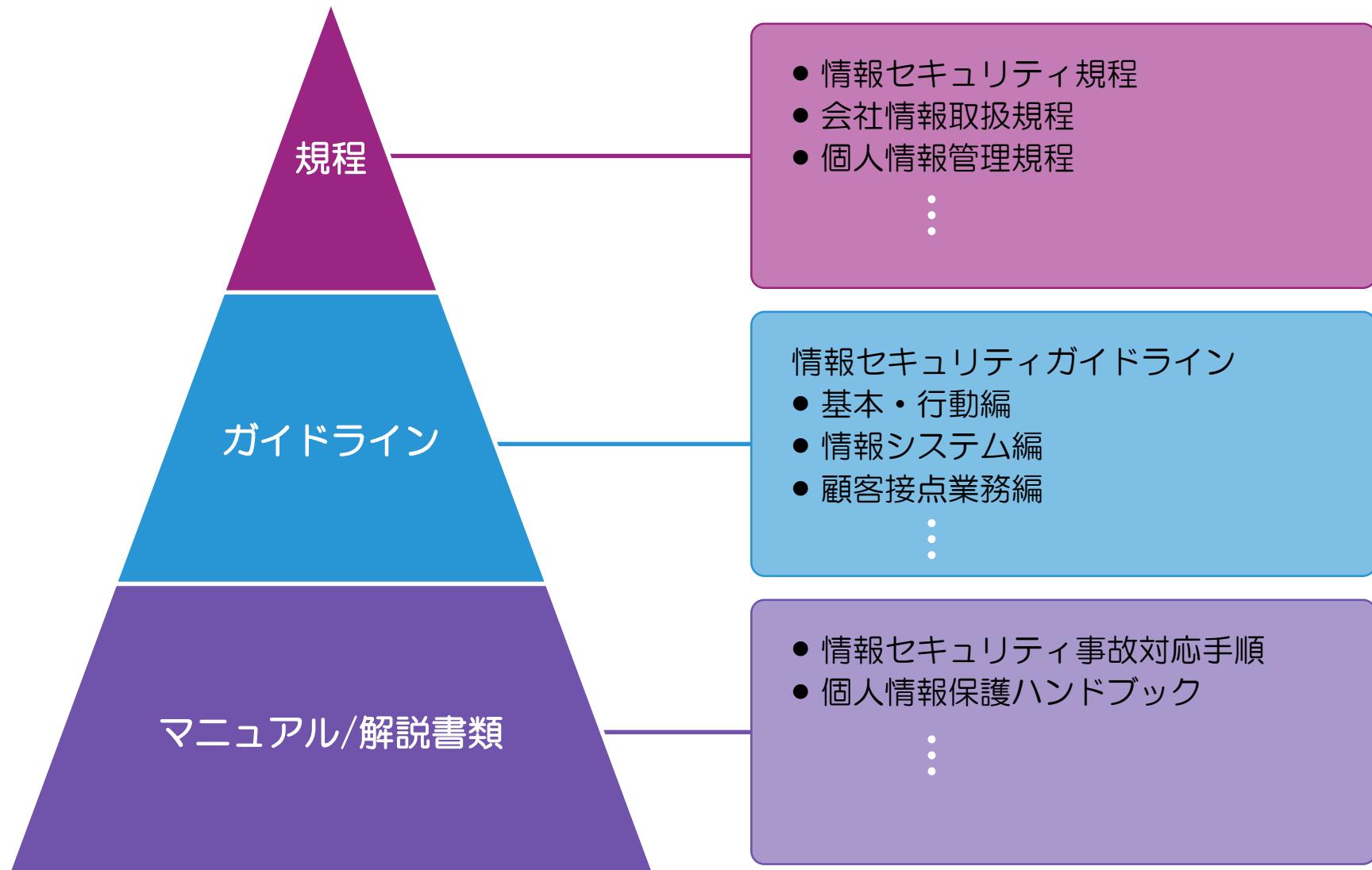
経営層の方々のお話

本テーマについて考える

富士ゼロックスの情報セキュリティ活動の歩み



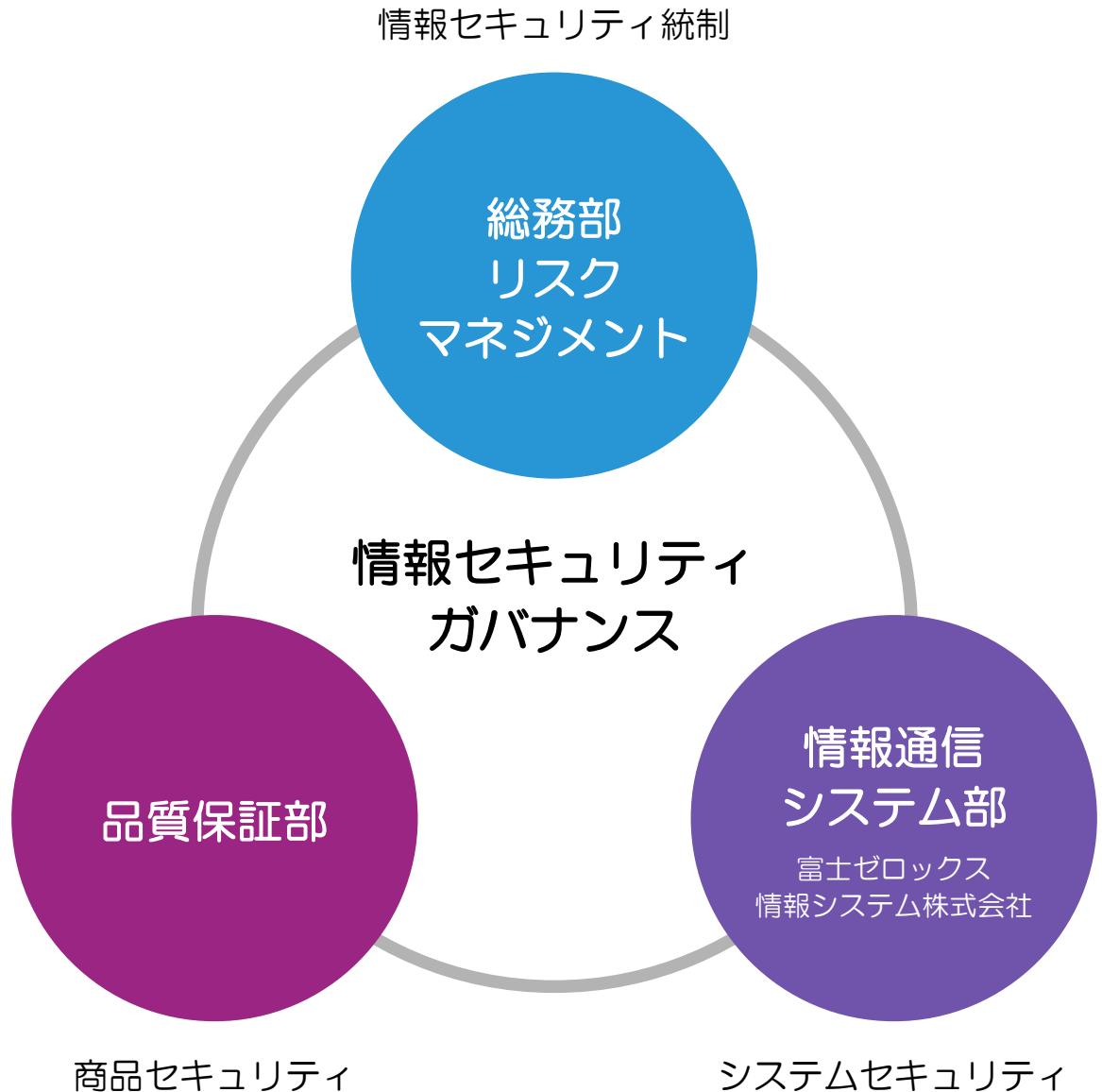
情報セキュリティにかかるルール体系



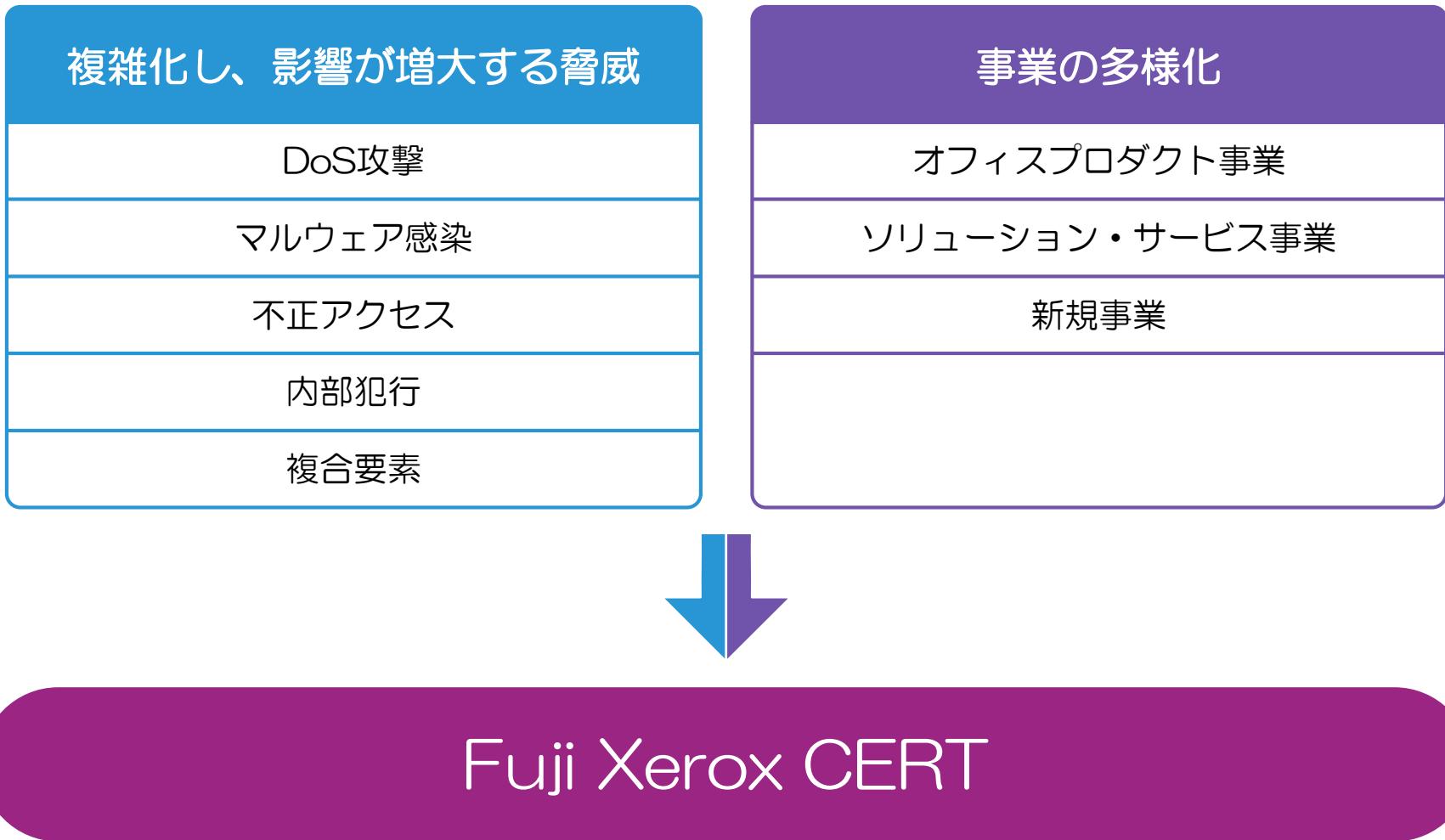
情報セキュリティガバナンス

部門の情報セキュリティ			全社共通の情報セキュリティ
研究・開発・生産	例	<ul style="list-style-type: none">● 事業所セキュリティ● 市場導入前商品情報● 生産に関連する情報● 研究情報	
国内営業	例	<ul style="list-style-type: none">● お客様預かり情報● サービスビジネス● モバイル	<ul style="list-style-type: none">● 方針・ルールの立案・策定● 共通管理策の展開● 事故報告管理● リスク抽出と重要な情報資産に対する統制活動● 監視・監査● 教育・啓発
海外営業	例	<ul style="list-style-type: none">● お客様預かり情報● サービスビジネス● 各国特有のリスク	
関連会社		<ul style="list-style-type: none">● 各会社の事業特徴に応じたセキュリティ	
本社	例	<ul style="list-style-type: none">● 戦略情報● 基幹業務システム● 事業継続管理	

情報セキュリティ機能



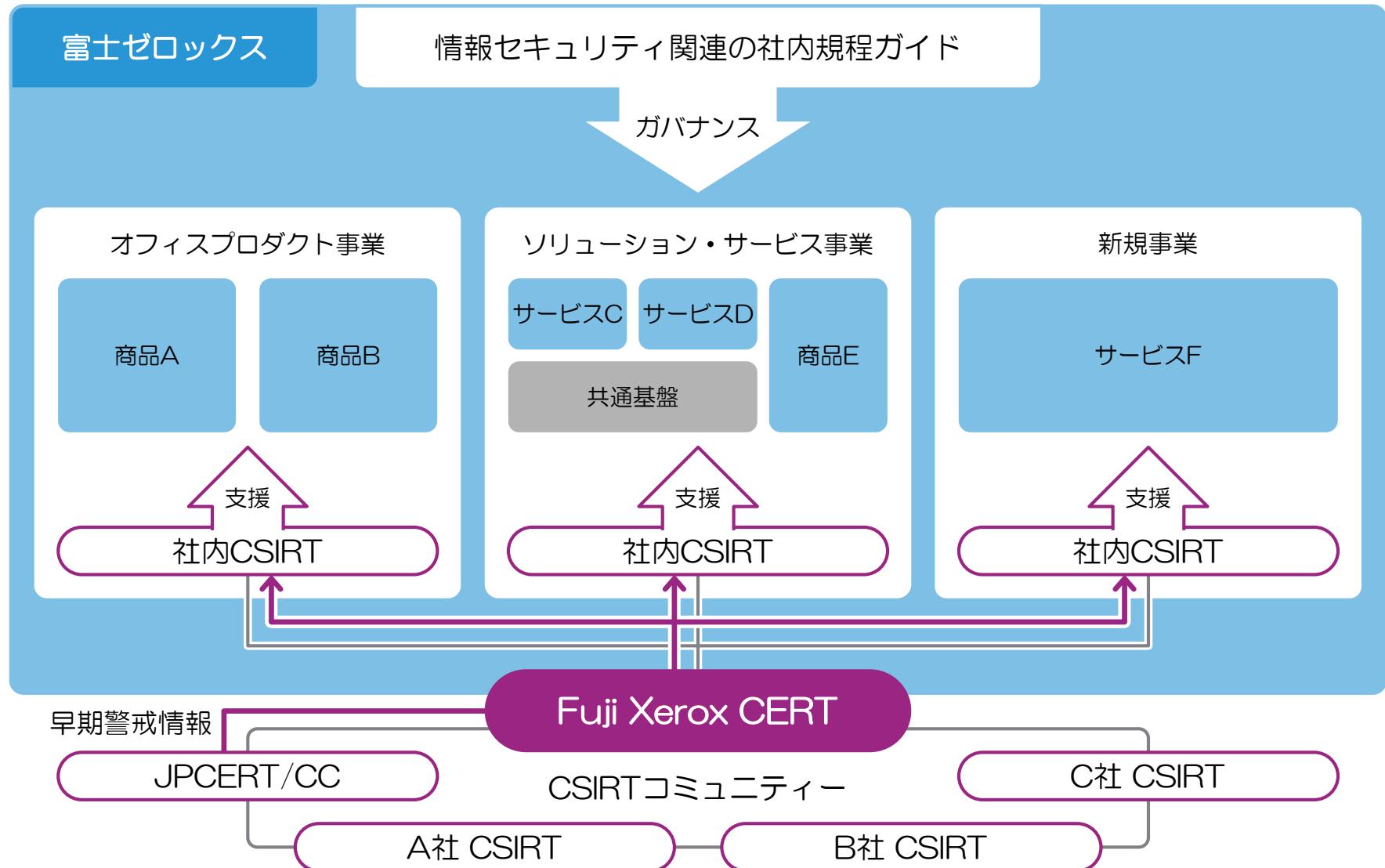
変化への組織的対応



商品・サービス領域ごとに設置された複数の社内CSIRTで構成される部門横断の仮想チーム

※ CERT®は米国カーネギーメロン大学の登録商標です

Fuji Xerox CERTの活動体制



※ CSIRT : Computer Security Incident Response Team。 ※ CERT®は米国カーネギーメロン大学の登録商標です。

今回のテーマ“投資”について

情報セキュリティの考え方

トップメッセージ

富士ゼロックスが考える情報セキュリティ

当社における情報セキュリティの位置づけ

近年のIT環境の劇的な変化は、経済活動全般を大きく進化させるとともに、私たち一人ひとりが、ITの活用を前提にコミュニケーションする時代となりました。各企業や行政をはじめ、あらゆる組織におきましては、こうした時代の変化に対応するだけでなく、これまで以上に、さらなる変化を先取りした活動が、求められているのではないかでしょうか。

当社は、現在、ソリューション・サービスプロバイダーとして、エクセルレントカンパニーを目指しています。エクセルレントカンパニーとは、継続的な高い成長性は当然のこと、お客様から信頼され、地域・社会から尊敬され、従業員がいきいきと働ける会社であると私たちは考えています。

このように社会に対する責任を重視する経営(CSR経営)を目指していくなかで、外部の脅威や内部の脆弱性への組織的対応を行うリスクマネジメントは、重要な経営テーマの一つであり、情報セキュリティもその一環として位置づけています。特に、当社がDocument Service & Communicationの分野で社会に貢献し続けるためには、お客様が安心して重要な情報資産をお預けいただける会社でなければなりません。そのためには、個人情報や機密情報を漏えいやざさん、消失などにつながる脅威から確実に保護することが最も重要です。

変革を支える情報セキュリティ対策

当社では、お客様に安心いただけるパートナーであり続けるために、当社商品やソリューション、サービス面において、さまざまな情報セキュリティ対策に力を注いでまいります。本報告書では、情報ネットワーク上の脅威に対応するための専門チームFuji Xerox CERTの体制や、商品、サービスにおける安全対策を中心に紹介します。

一方、エクセルレントカンパニーを目指すなかで、業務プロセスの見直しや、新しい働き方の実践、コミュニケーション改革など、さまざまな社内変革にも着手しています。

メールによるコミュニケーションや、クラウド環境タブレット端末の活用が全盛のなか、変革に向けた各施策には、より一層の情報セキュリティ対策が欠かせないものとなっています。本報告書では、その一つとして営業部門の取り組みを紹介します。現在、従業員一人ひとりが、よりお客様との接点を増やすとともに生産性の高い働き方を目指しモバイルワークを実践しています。この取り組みを支えるIT対策とともに、情報セキュリティ上の課題に対する当社の対応をお伝えします。

安心いただける企業を目指して

私たちは、国内、海外含め全社を挙げて情報セキュリティ活動に取り組むとともに、パートナー企業との連携による対策も推進し、お客様をはじめ社会から信頼されるエクセルレントカンパニーを目指します。当社では、前頁の情報セキュリティ基本方針をベースとしたさまざまな取り組みを実施しております。そのなかの主な取り組みを掲載した本報告書につきまして、ぜひ忌憚ないご意見をお聞かせください。



2014年8月
富士ゼロックス株式会社
取締役 専務執行役員
柳川 勝彦

- 繼続的な高い成長性は当然のこと、お客様から信頼され、地域・社会から尊敬され、従業員がいきいきと働く会社を目指す。
- 社会に対する責任を重視する経営を目指していく中で、外部の脅威や内部の脆弱性への組織的な対応をおこなうリスクマネジメントは重要な経営テーマである。
- 情報セキュリティはリスクマネジメントの重要な要素であり、個人情報やお客様預かり情報の保護や、従業員の生産性向上と安全性の確保を重要課題として取り組んでいる。
- リスクマネジメントの推進のため、海外を含めた全社でPDCAを回しながら実践するとともに、パートナー企業との連携による対策を推進していく。

